

休校期間中、たくさんの課題が出されています。プリント、テキスト、そして「eライブラリ」等々。全部やろうと思うと、とてもやりきれません。どうしたらいいのでしょうか。

こんな相談が、夢色通信社に寄せられた。ム・ネッティ氏は神町中学校に取材を申し込み、学年主任の先生から、下の様な回答を得た。なお、詳しくは神町中学校のホームページにも載っている。

1年生

キーワードは“とことん”極める。自分でつくった作品、日常の疑問から発展したレポート、プリントの間違い直しを何度も行った「自学」など、「自分のこだわり学習」を提出する。1年生にしては、けっこうハードルの高い課題であるが、期待している。

2年生

各教科のワークと“学びの「道」アンケート”が必ず提出する課題である。量的には多くはないので、「終わった」ではなく「身についた」と言えるよう勉強してくること。自分のために勉強するんだということを忘れないで欲しい。

3年生

「必ず学べ」が、社会科の課題作文、「自ら学べ」が“スタディプロジェクト”と“eライブラリ”となっている。「自ら学べ」ではあるが、受験対策も兼ねているので、予習も含めてどんどん先に進んで欲しい。先を見すえて勉強に取り組んでいこう。



今日は、3年生（午前）と1年生の3クラス（午後）の中間登校日でした。

2回目の中間登校日

<エピソード1>

「最近、夜寝るのも朝起きるのも遅くなって、生活のリズムが崩れてしまったんです。」と話してくれた井澤心海さん（3年）。今日が15歳の誕生日だという。ちょっと大人っぽく落ち着いた雰囲気になっていました。市川蒼くん（3年）も、身長がぐーんと伸びていました。ちょっと見ない間に、みんな大きく変わっているのかも？

<エピソード2>

先週、登校してきた生徒に「先生、元気でしたか？」と声をかけられたという、3年生の富樫みゆき先生。「こういう、相手を気遣うような言葉は普通出てこないですよ。ね。神中生って、すごいですよね。」と話してくれました。声をかけた武田優空くん（3年）は、毎日家にあるサンドバックをたたき、体力を落とさないように頑張っているそうです。

<エピソード3> 学校再開とともに、給食が始まります。給食委員長の伊藤蒼空くんは、その日のために菅原深雪先生と打ち合わせをしていました。「いつもだと、4月に給食委員としての仕事を覚えてもらうのですが、今年は異例づくめで困っています。5・6月には特別活動も予定したのですが……。テレビでは学校は9月からというニュースも流れていますが、どうなるのかわからず不安です。」と胸の内を話してくれました。